

議 事 録

会議の名称	(仮称) 香取台地区小学校に関する保護者説明会
開催日時	令和3年6月18日(金) 開会 19:00 閉会 21:00
開催場所	つくば市立島名小学校 体育館
事務局(担当課)	教育局 学務課
出席者	<p>島名小学校保護者 41名</p> <p>事務局説明者 教育長森田充、局長吉沼正美、次長兼教育施設課課長飯泉法男、次長貝塚厚、 学校教育審議監根本智、学び推進課課長横田康浩、学務課課長下田裕久、 学務課課長補佐東泉学、教育施設課課長補佐大口勝也、 教育施設課課長補佐三井永達、こども育成課課長補佐岡野則子、 文化芸術課地域交流センター統括監星野雄司、 スポーツ施設整備室室長武笠健一、中央図書館館長柴原徹、 中央図書館副館長松浦智恵子、公共施設整備課係長鈴木章夫、 公共施設整備課主査須藤幸恵</p>
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 教育長あいさつ 3. 職員紹介 4. 説明事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 通学区域について (2) 建設概要について 5. 質疑応答 6. 閉会
1 開会	
2 教育長あいさつ	<p>みなさんこんばんは。つくば市教育長の森田充でございます。よろしくお 願いいたします。本日は、このような説明会を企画しましたところを、大変 お忙しい中、このような遅い時間にお集まりいただきまして、誠にありがと うございます。また、日ごろから、島名小学校の学校運営に対しまして、大変</p>

なご理解、ご協力をいただいておりますことに、改めましてここで感謝を申し上げます。本当にありがとうございます。島名地区は、大変自然豊かな地区で、そこにつくばエクスプレスが開通しまして、都内へのアクセス、大変便利になったということもなりまして、万博記念公園駅を中心に大変人口が増加した地域ということでございます。そのことで、島名小学校の児童数も大変増加していきまして、その対応のために、(仮称)香取台地区小学校の開校を令和5年4月に予定しています。つくば市の教育は、ご存知のように、教育大綱に掲げているように、ひとりひとりが幸せな人生を送れるようにということを最上位の目標にして、子供たちひとりひとりが豊かな学びができるようにということで大変努力しているところです。島名小学校におきましても、そういった考えのもと、学力だけでなく、人格形成という意味でも努力している学校であります。私の妻も、今から10年ほど前にこちらに勤務していきまして、非常に地域の方々と一体となって充実した教育活動が出来たということ、大変思い出深い学校だと申しておりました。新しい学校も、島名小学校同様、そういった良さを生かして、子供たちひとりひとりの学びをより良いものにするように、教育環境、人事面を整えていくことが私たちの役割だと考えています。本日の説明会におきましては、皆さんの不安やご心配があるかと思っておりますので、忌憚のないご意見をいただきまして、私たちもそのご意見を尊重して、今後の学校建設運営に生かしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

3 職員紹介

4 説明事項

(スクリーンを使用し説明)

5 質疑応答

島名 男性：通学区域についてですが、島名地区は分割されることとなりますが、場所によっては香取台の方が近い、島名の方が近いということがあります。それに、今まで幼稚園を含めて、子供たちの友達の関係もございませぬ。これに対しまして、どちらの小学校に通うのか、行政の決定事項に絶対的に従うのか、選択の予定があるのかをお聞きしたいと思います。

学務課長：ご質問ありがとうございます。今のご質問については、島名については、二つに分かれるということで、仮換地が香取台、諏訪になっている地区と仮換地がない島名の地区で分かります。保護者説明会、この後の地域住民説明会でご意見をお伺いして、最終的には教育委員会で審議した上で、最終的な学区の決定については、開校する年の前の令和4年11月末頃には、この学区内にお住まいの新1年生から新6年生のお子さんすべての方に、保護者の方に来年4月から通う学校は香取台の新しい小学校になりますよ、という通知を出します。その上で、新しい学校へ行くのか、それとも違う学校へ行く手続きの学区外の手続きを行うかということになります。今のところ選択できるということは考えていません。

香取台 男性：プールが令和6年4月オープンで、学校は令和5年に開校になるため、その1年は学校のプールはどのようになるのか。あと、学校から行くとする結構遠いと思います。車でも15分くらいかかるとおもいます。どのように授業するのかなと思っています。あと、基本的なことですが、香取台の新しい学校は、なんで中学校は併設されなかったのか、わかりやすく教えていただきたいとおもいます。

教育施設課長：プールについてご説明いたします。(仮称)みどりの学校プールがオープンするまで1年間開きがあります。学校建設とプール建設のスケジュールなどでの様々な理由でオープンがずれています。この1年間は、近隣の既存の各学校のプールや、民間のプール利用も検討しています。

香取台 男性：近隣の学校というのは、どこの学校を想定していますか。

教育施設課長：一つの学校ということはできないため、柳橋小学校等を検討しています。移動については、バスを使用し、移動時間が15分かかることも考えて、授業時間を1時間で終わりではなく、2時間でということも考えています。

小学校だけの建設については、令和元年度に適正配置計画を策定し、高山学園の推計を行っています。推計上、中学生の伸びについては、新しく分離新設するほどの伸びが考えられていないため、今回は、小学校のみの建設となっています。

香取台 男性：高山中学校が一つになってしまうが、高山中学校がパンクというか、島名小のようにプレハブ増築を繰り返すようなことにはならないのでしょうか。

教育施設課長：高山中学校は、空き教室もあります。推計を見ながら、教室の転用などで対応していくと考えています。

司会：ありがとうございます。そのほか、ご質問いかがでしょうか。

香取台 男性：建設予定地の周囲についてお聞きしたいです。予定地の東側の道路は、横断歩道がない状態で、朝の時間帯の交通量が多いかと思います。横断歩道や信号の設置の予定はあるのか、また、なければここは検討していただきたいと思います。高山中学校の中学生が自転車で通学する道路となっているので、中学生との通学時間帯が重なるため、危険になると思います。どのような計画になっているか教えてほしいと思います。

学務課長：通学路に関する問題についてですが、保護者説明会、地域住民説明会の後、開校準備委員会を開きます。開校準備委員会では、登校ルートを想定していただいて、信号や横断歩道、カーブミラーなど必要なものを出していただいて、我々から関係する部署、警察等へ要望していくこととなります。中学生との通学時間帯の重なりについては、小学校の学区が決まった後、

時間帯をずらしたり、カーブミラー等の設置を含めて、保護者の方と一緒に検討していきたいと思います。

万博公園西 女性：最初の方と似たような質問になりますが、夫婦の出勤時間が早いため、祖母の家に子供を送って、そこから学校へ通っている状況です。万博公園西が新しい学校の学区に入っていなかったため、選択できるのかも含めて、選択できない場合は、祖母と一緒に住んでいるように住民票を異動した方が良いのか気になりました。

学務課長：通学区域の案が、このまま通った場合ですが、選択制については、今のところ考えていません。住民票については、教育委員会ではなく、市民窓口課が担当になりますが、住民基本台帳法に基づいて手続きをしていただくものになります。そういったことを考えて、担当課へご相談をお願いします。

香取台 男性：教室数ですが、各学年3クラス、18教室程度かと思います。推計の人数を見ると、クラス数21で、すでに足りないのではないかと思います。いかがでしょうか。今、すごく分譲されていて、人数がどんどん増えていくかと思います。今後の児童数の見積もりが甘くて、結局またプレハブ建てることになり予算かかるかと思いますが、そのあたりの見通しをお聞きしたいと思います。

教育施設課長：まず、教室数の説明についてですが、各学年3クラスで6学年18教室を考えています。クラスが増えることについては、普通教室へ転用することが必要になってきますので、多目的室を転用して、クラスの増加に対応していこうと考えています。各学年4クラス、24教室を最大として考えています。

香取台 男性：すでに4クラスとして予定されていて、今後人口が増えて、明らかに増えてくると思います。これは、研究学園とかも見ていけば、どのくらいの推移で増えてくるのか予想ができると思います。それで最大24クラ

スで足りるということであれば問題ないですが、30クラスになったとき、また増築するのか、ということです。研究学園もそういったことになっていると思います。同じことを繰り返すのは、よくないと思いますし、予算もかかります。今の予定でも構わないので、もう少ししっかり説明していただきたいと思います。

学務課長：資料で出させていただいているのは、令和7年度までになっていますが、適正配置計画という計画を作った際に、市内全部の学校の推計を行いました。開発地域については、計画戸数が100%になると想定して作りしました。研究学園やみどりの場合は、100%に達するまでの年数ごとに推計を行っています。香取台についても、100%になると見込んで推計しましたが、令和9年にピークを迎え、24学級まで達しないと考えています。香取台と諏訪は開発地域ではございますが、香取台は97%、諏訪は100%を超えている状況なので、さらに家が建つ場所も少ないかと思っています。こういったことから、現状の施設の状況で足りるのではないかと考えています。

香取台 男性：では、根拠性があるってやっているということですね。

学務課長：計画戸数を出して、100%を見込んで推計しています。

香取台 男性：そういった資料は公開していますか。確認したいので公開してほしいです。

学務課長：計画戸数については、県やURからいただいた数字で、計画戸数に対する割合については、市のホームページから行政区別人口の世帯数を足しあげて計算しています。97%というのは、今年の4月時点の住民基本台帳データを基に計算しています。

香取台 男性：今こういった質疑応答している内容については、議事録といったものは、後でいただけますか。

学務課長：説明の中でもありましたように、後日ホームページ上で公開させていただきます。適正配置計画については、すでに市のホームページで公開

しています。

万博公園西 男性：万博公園西は、新しい学校の通学区域外になっています。島名小学校から新しい小学校にわかれた後、島名小学校は人数が減った後どのように変わるのか。通学区域で心配なこともありますし、設備についても老朽化していることもあって、そういったところの計画についても、教えてほしいと思います。

教育施設課長：島名小学校については、分離新設後も施設整備を行っていきたいと考えています。島名小学校は、上河原崎地区の開発地区が学区にあり、こちらでもまた児童数の増加が見込まれているところです。

諏訪 男性：令和9年度にピークということですが、TX 開通後 15 年、資料が令和4年からですが、令和5年にプラス1%、つぎも1%、その次が3%となっています。もう少しさかのぼって見た際の増加率を教えてほしいと思います。先ほどの方も言われていましたが、島名小、香取台小近くの分譲地が多くて、民間でも働き方改革などで、在宅で都心に住む方がつくばに来る方も多いかと思います。過去からの児童の増加率がどうなっていたかを教えてくださいたいと思います。

学務課長：過去の人数の伸びについては、資料がなく今すぐお答えができません。推計についての伸び率が少ないということですが、計画戸数を達成するのに5年というペースであれば、伸び率が大きいと思います。こちらの地域については、5年以上時間をかけて、計画戸数100%達成すると推計していますので、ゆるやかな形になっていると思います。計画戸数を60%や70%と想定して推計すると、100%になった際に大変なことになってしまいますが、あくまでも100%で想定して、令和9年がピークになると計算しています。確かに、あくまで推計となっていますので、毎年の住民記録データ、学校の児童の在籍数を確認し、推計と乖離がないか確認しています。先ほどの過去の伸び率については、申し訳ありませんが、ホームページ上で回答させていた

だければと思います。

面野井 男性：自分自身が高山中出身ですが、人数推移を見ると高山中はあと数年後にはパンク寸前になると思います。これから上河原崎地区の人口の増加、真瀬地区からも生徒が来ます。それに伴って、先を見据えて新設中学校の予定はないのでしょうか。もしあれば教えてください。

教育施設課長：ただ今のご質問ですが、さらなる増加が見込まれるということですが、確かに茨城県の方で主導的に開発を行っています。今回の小学校用地の横に、中学校用地もございます。今現在、すぐに高山中が入りきれないほどの生徒数になるということは見込まれていない状況です。また、なぜ今のうちに用意しておかないのか、ということについては、学校建設に当たっては国の補助金を使って学校建設を行うことが通例になっています。通常ですと、今年度何人いてクラス数が不足しているから建設しますということになります。つくば市の場合は、毎年毎年児童生徒が増えている状況にありまして、特例的に3年先の想定数を使って補助金申請するということが可能になっています。3年先の数字でも、高山中学校のキャパシティがある状況になっていますので、今のところは建設という状況ではなく、空き教室を利用していく状況になっています。

万博公園西 男性：香取台小が開校するとき、子供は高学年になります。友達の多くが香取台小へ行ってしまい、島名小は小規模校になってしまいます。今考えられている学区のシミュレーション以外の学区はあったのでしょうか。もしあれば教えてください。

学務課長：シミュレーションというのは、今回の香取台、諏訪、水堀以外を学区にいれた想定ということでよろしいでしょうか。

万博公園西 男性：あとは、例えば最も近い距離で考えた場合とか、地域ではなく、家からの直線距離などで考えたシミュレーションはされていますか。

学務課長：新しい学校が開発地域内にあるため、開発地域を学区として想定

して案を出して審議していただきました。水堀については、開発地域ではありませんが、開発地域の東側にあり、水堀は香取台を通過して島名小へ通学することになるため、今回、水堀を入れています。他の新設校についても、開発地域にある学校なので、開発地域を学区に入れた案で審議していただいています。審議にあたっては、様々なご意見をいただきましたが、シミュレーションはこの3地区で作ったものとなっています。

香取台 男性：今日の説明と資料で質問なんです、南側に芝生をとりましたが、グラウンドはどういった仕上げになるのでしょうか。ご存知の通り、つくば市は芝生の有数の産地であり、そういった地元のものを使っていくことができないのかといった質問になります。

教育施設課長：グラウンドの芝生化ということですが、子供たちが実際に遊んだり、体育を行っていく上で、どうしても芝生が剥げてしまったり、凹凸ができてしまいます。その芝を張り直すとなると、どうしても3か月とか養生の期間が必要となってしまいます。そうすると、グラウンドを使用することが難しくなってしまいます。ですので、グラウンドの周辺部分に芝を施し、グラウンドとして使用する部分は、周辺の住宅への飛散が少ない砂を敷いた仕様を考えています。

香取台 男性：仰っていることはわかりませんが、実際に採用している学校もあります。そういった理由によって使わないというのは、個人的には納得がいかないです。ぜひ、計画を練り直していただきたいと思います。それと、近隣に対して強風の際の具体的な対策はどういったものになるのか、教えてください。

教育施設課長：芝の件については、申し訳ありませんが、ご意見として承らせていただきます。

香取台 男性：具体的な記載はできますか。この状況ですと、そういった考えがあるということがわからないですし、そういった配慮をした学校である

と前に出していけば良いと思います。申し訳ないが、今の答えだと、この場をなんとか終わらせるための回答にしか聞こえません。

教育施設課長：申し訳ありません。設計の方には、市としてのグラウンドの考え方は伝えています。今、手元に資料がないため、お答えしかねますので、ホームページで回答させていただきたいと思います。

香取台 男性：できれば、入札仕様書の中に、そういった記載を入れていただいた方が落札した業者もしっかりとした施工をしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

教育施設課長：ありがとうございます。入札は、すでに終わっているため、そういった形は取れないんですが、施工を進める中で、まずは市の考え方を伝えた上で、その中でより良いものを選んでいければと考えています。グラウンド舗装については、石灰スクリーニングスを用い、グラウンドの表層を仕上げる予定です。

香取台 男性：それは、我々の意見ではなくて、施工者が良いと言った意見ではないですか。我々は出来上がったものを見るしかなくて、具体的にこれを使ってくれと、言わなければならないんじゃないですか。

教育施設課長：当然、市の公共施設として工事を発注する場合には、設計の中で示している製品同等もしくはそれ以上のものが必要となります。安かろう悪かろうといったものを業者が使用してきた場合は、市でも認可するわけにはいきません。

香取台 男性：同じ班内であっても、島名小へ行く子、香取台小へ行く子とわかれてしまい、問題が起こっている事実があります。学区の問題なので、選択というのは難しいというのはわかるんですが、学区外の申請があれば、ある程度柔軟に対応してもらえるとということはあるんでしょうか。

学務課長：学区外については、個別の案件になります。ホームページでも公表していますが、学区外の基準があります。学区外申請については、申請さ

れる方の記入している内容によって、十分な審議をします。指定以外の学校を希望する場合は、学務課で対応しますので、相談や申請をしていただくようお願いいたします。個別の案件になりますので、お時間をいただく場合もあります。学区が決まって、学区外になった場合は、申請が必要になりますが、検討していただいて、申請をお願いします。

香取台 男性：道路でわけるといのはわかりやすいんですが、同じ行政区で分断される状況になっています。これについては、どのようにお考えですか。私は、県の行政区に合わせる必要はないと思います。

学務課長：行政区によって様々な形になっています。島名は大きく縦長の形になっています。その中で、香取台は仮換地としてあります。学校を建設するにあたっては、開発地域の人口が増えて、開発地域の中に学校用地もあります。我々としては、どこかで学区を設定しなければならないので、開発を進める中で境が決まっていたと思いますが、開発地域の中にある学校ですので、まずは、開発地域を学区にして、皆さんからのご意見をお伺いして決めていきたいと考えています。方針としては、開発地域を学区とすることを考えていますので、ご理解いただきたいと思います。

香取台 男性：最近できたつくば市の学校は、大規模な学校、みどりのや学園の森があると思いますが、窓ガラスが上から下までだったり、廊下と教室の隔たりがなく開放できる仕様だったり、体育館へも移動しやすい作りだったり、見せていただいたことがあります。今回、規模も変わってくるかと思いますが、他の学校と比べて、どんな形なのか、どんな設計なのか、そういったところを知りたいです。

教育施設課長：設計するにあたりまして、春日学園、秀峰筑波、学園の森、みどりのといった学校を作ってきました。学校の先生方へアンケートしまして、学校の設備に関し、ご意見をお聞きしました。その中で、ポイントとしては、児童が過ごしやすい学習環境になるよう、開口が広すぎてまぶしいとか、部

屋が広すぎて勉強に集中できないといったご意見もいただいておりますので、そういったご意見を取り入れていきたいと考えています。

香取台 男性：では、最近できた学校と全く同じ作りではなく、新しいものを採り入れた形で作られるということでしょうか。

教育施設課長：はい。仰る通りでして、最初に作った学校は極力明るくといったこともありました。色々なご意見もありましたので、みどりのや学園の森と同じなのかといったら、また違った新たな学校ということになります。

面野井 男性：水堀は開発地域外だが、香取台小へ行けるという話でしたが、水堀の子と一緒に学校へ行っているんですが、北と南に切られて、北は島名小、距離的には水堀の子と同じかと思います。研究学園小中学校に北面野井地区は分かれました。なぜ、水堀地区は開発地域ではないのに、香取台小学校へ入れて、面野井地区は近い小学校を超えてまで、島名小学校へ通わなければならないのでしょうか。

学務課長：まず水堀については、島名小学校区の中でも、赤い点線の開発地域との間にある場所です。水堀は、島名小へ行く場合は、香取台と諏訪を通過して、香取台小を通過して行くようになります。そういったことも考えて、香取台小の学区としました。面野井については、研究学園小中学校の用地は、研究学園2丁目になりますが、その用地だけでは場所が足りなかったため、面野井を拡張用地としました。面野井については、県道より北側は研究学園小中学校に隣接する地区でもありましたので、研究学園小中学校の学区としました。水堀については、開発地域より西側にあった場合は、おそらく新しい学校の学区に入らなかったと思いますが、東側にあり、開発地域を通過することになるため、香取台小の学区としました。

面野井 男性：水堀の子たちは、開発地域の中を歩いていきません。大きな通り沿いに集まって、学校へ行きます。通過していきません。

学務課長：登校ルートのことかと思いますが、行政区の中で、地図上で見て

いただいたときに、水堀は完全に隣接地区になりますので、香取台小の学区としました。

香取台 男性：高山中学校の話がありましたが、新しい建設用地に中学校が建つのがいつ頃になるのか決まっていれば、教えていただきたいと思います。

教育施設課長：中学校の建設計画については、現在のところ白紙の状態です。

香取台 男性：それは人数が増えると、計画されるということですか。

教育施設課長：島名小と香取台小の人数が増えてきて、中学校の許容人数と比較して、計画されていくと思います。

香取台 男性：高山中の外観がきれいではなくて、体育館とか古いなというふうに思っていて、他の学校は新しい中学校を建設して行っているのに、古い学校をいつまで使わなければいけないんだろうなど、納税者として不公平感を感じていて、きれいにしたりといった計画もないのでしょうか。

教育施設課長：高山中学校の改修計画ですが、昨年度策定しました長寿命化計画に基づいて、学校は鉄筋コンクリートですと約60年を目安で作ってきたが、さらなる改修で20年ですとか長く使えるようにして、教育環境の改善を図るということになっています。市内の各学校を計画的に改修していきます。

香取台 男性：新しい学校のコンセプトがありますが、児童同士の交流や、地域の交流とか、子供たちにとってどういう教育効果があると思ってやっているのかなと思ったことと、具体的にどういうことを考えられているか教えていただきたいと思います。

教育施設課長：コンセプトについては、基本的な方針としては、多様な教育環境に配慮した学校づくりということもありまして、遊びの広場を設けたり、異学年交流ができるとか考えています。また、地域に開かれた学校ということもあります。長期的な将来を見据えて、子供たちの数が減ってきたときに、空き教室が増えてきたとき、転用を考えなければならないということもありますので、そういったことも配慮した形を考えています。

香取台 男性：今のお話ですと、今の計画ということより、むしろ今後のことを考えられていると思います。これから通う子が具体的に、どういうことがあって、どういう効果があるのか教えていただきたいと思います。

教育施設課長：確かに、何を狙っているのかということですが、異学年の交流ですとか、地域に開かれた学校ということですが、つくば市の教育方針として、自分で自己判断ができる子ということも掲げておりますので、そういった観点からも様々なふれあい等を考えていきたいと思っています。

香取台 男性：中学校の話が出ていたので、その関連ですけれども、今日の資料の島名小の児童数が、令和4年 212 人、開校の年が 213 人、その後 223 人、230 人と書いてありますが、島名小としてあまり人口が増えないという考えなのではないでしょうか。新しく造成されている地区もありまして、ホームセンターがオープンして、大型ショッピングセンターを誘致するような土地もあります。県の方でも、大々的に宣伝を行ったりもしています。いつの段階でそういうものができるかわかりませんが、あまりにも児童数の見積りが甘いのではないかと。ほかの方の質問でもありましたが、こんなデータで大丈夫なのかなと思います。先ほどの質問の方でも、登校班は香取台地区を通っていないお話もありました。でも、それが本当の我々市民のコメントだと思います。皆さんは、データをとって見られていると思いますが、実際見てない。向かいに住んでいる子が違う学校に行くということをご自身のこととして考えてください。見積もりがあまりにも甘くて、高山中学校についても、増築増築と同じことをするのであれば、用地があるのであれば、小学校と中学校を並行して作るべきだと思います。令和9年度に頭打ちだと聞きましたが、その用地はどうするのでしょうか。

教育施設課長：先ほどの方へもお答えしましたが、今のところ、中学校を建設する予定はありません。ただし、将来的には、上河原崎地区の開発が終わって、住宅ができ、人が張り付いてくる、そういったところで建設を検討し

ていく必要が出てくるかと思えます。

学務課長：この推計を行った際は、スーパーや家が今ほど建っていなかったことはあります。ただし、県も今後、高山地区の開発を進めていくことになるので、令和7年度までしか載せていませんが、島名小は今後児童数が増えていくということで考えています。それについては、推計のほかに、毎年の住民記録、各学校の児童数、開発については、マンションや家がどの程度建設されるのか、申請が出た際に担当課と情報共有していますので、そういったことを加えて精度を上げていきます。

香取台 男性：開かれた学校についてですが、セキュリティはどうなっていますか。一般の方が出入りしやすいというのは、リスクが高いと思います。そういったリスクに対してどのように考えているか教えていただきたいです。

教育施設課長：出入り口は東側の2か所を考えています。グラウンドへの出入り口も1か所あります。子供たちの安心、安全が一番大事ですので、児童クラブと併せたコミュニティ施設については、道路に極力近い場所にあり、子供たちと交差することがないように配慮しています。

万博公園西 男性：住んでいる方のお話を聞いていると、あまり意見が伝わっていないような気がします。住んでいる方の意見が伝わりやすいシステムにしてもらえないでしょうか。

学務課長：学区については、学区審議会の中で委員さんに審議していただいています。委員さんについては、学校の保護者代表の方や、校長先生、島名地区に関わる区長さん、区長さんがいない場合は、代表の方に入ってもらっています。一回開催するごとに、保護者の方の意見や地域の方の意見を聞いていただいて、次の会議で審議していただいています。その上で、答申をいただいています。その後、保護者説明会、地域住民説明会を行い、皆さんからのご意見をお伺いしていきます。これが最終決定という形ではないので、ご意

見をお伺いして、審議会での意見、保護者説明会、地域住民説明会のご意見をお伺いして決められていきます。

万博公園西 男性：審議会に対して、ホームページ等で意見は言えるのでしょうか。

学務課長：会議録や資料はホームページですべて載せています。会議自体も、委員さんに会議ごとに意見を広く集めてきていただいて、次の会を出していただく。場合によっては、アンケートをとっていただいたりして意見を出していただいています。審議会として、意見の募集は行っていませんが、保護者の方からのご意見や、コロナの関係で人数制限等もありますが、住民説明会でご意見をお聞きする形になります。

万博公園西 男性：最終決定はオープンになりますか。こういったところで意見やコメントを言っても、それが載っていないと意味がないと思います。

学務課長：ご質問やご意見等については、会議録としてホームページに掲載します。住民説明会の時には、説明もします。教育委員会で最終的に学区が決定します。

香取台 男性：学区がいつ、こういったプロセスで決まっていくのでしょうか。

学務課長：時期についてはお伝えが難しいですが、令和4年11月には就学通知を出す必要があるので、10月までには決まっていないと通知が出せない状況です。

香取台 男性：最後は教育委員会での多数決ですか。

学務課長：議案として教育委員会へ提出して、審議したうえで可決されるかになります。

香取台 男性：教育委員会への議案としては、この案ですか。この案とともに意見を付しますか。

学務課長：この案は、審議会の答申ですので、この案について、皆様のご意

見をいただいて、教育委員会へ提出する際は、再度検討した上で、案として出します。現段階で、これが最終ということはお伝えが難しいです。

香取台 男性：では、それまでに意見が色々出て、反映されて、今の案が変わりうるということもあるということですか。

学務課長：そのご意見の内容によって、検討が必要になりますので、変わるかどうかについてはお答えが難しいです。意見はお伺いして、協議します。

香取台 男性：いつ頃に意見集約して、こうやって決まるんだということをおホームページ等で欲しいなと思いました。

学務課長：ご意見としてお伺いします。

司会：それでは、本日はたくさんのご意見をいただきまして、ありがとうございました。本日いただきましたご質問、ご意見、今後実施する地区住民説明会のご意見を踏まえまして、通学区域の決定や施設建設を進めてまいりたいと思います。本日の説明会資料及び質疑応答内容については、市ホームページに近日中に掲載してまいります。本日の説明内容等に関しまして、さらにご質問やご意見がある場合は、市ホームページ専用サイトよりお問い合わせください。なお、専用サイトよりお問い合わせいただいたご質問等への回答は個別回答ではなく、市ホームページ上での公表をもってかえさせていただきます。本日は、大変お忙しい中、貴重なお時間をいただき、ありがとうございました。以上をもちまして「(仮称)香取台地区小学校に関する保護者説明会」を終了とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

8 閉会